

第1回研究授業

7月18日、夏休み直前の3校時～5校時にかけて、生活科と社会科の校内研究授業が行われました。

生活科：2年3組「めざせ、野さい作り名人！」

社会科：3年3組「店の仕事」

6年2組「天皇中心の国づくり」

本校の研究テーマは「自ら学び続ける子の育成」。生活科と社会科の指導実践をとおして、目指すお子さんの姿に迫ろうというものです。学習単元全体で「学習の見通し」「学習活動」「学習の振り返り」を連続させながら学びを深めていきます。

そのためには学習の中で教師が「目指すお子さんの姿」を明確にもつことからスタートします。

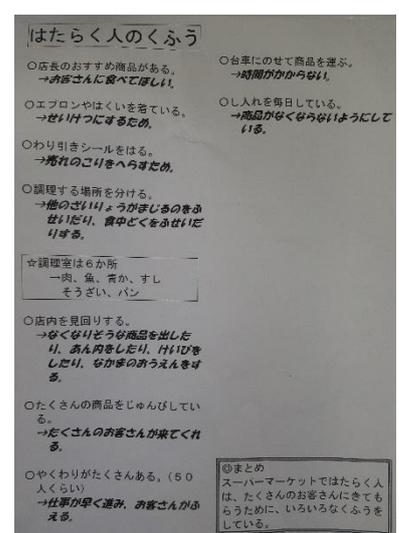
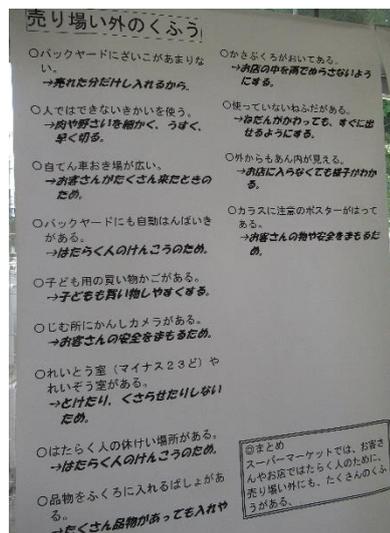
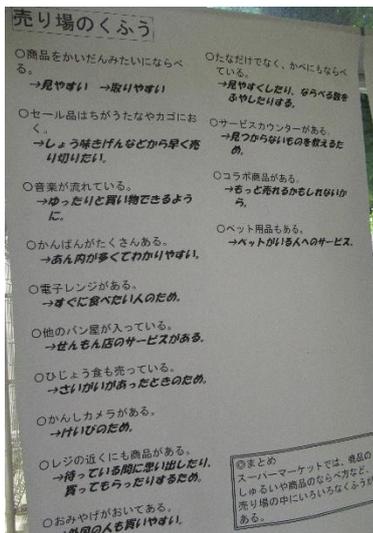
さらに、どのような教材と出会わせたらよいか、また、学習の構成をどのように工夫したらよいかを考えます。それによって、お子さんが学習に興味・関心をもち、学習への意欲を持続させていけるように全教職員で知恵を出し合います。

教師が主導となって毎時間の学習を進めていくのではなく、お子さん自身が学習全体の見通しをもち、意欲的に学習を進め、さらにその学習を振り返りながら新たな疑問を見いだし追究していく…。学び続ける子の育成を目指して校内で研究を進めています。

<2年～元気な野菜を収穫するために、これまでしてきたことを振り返ろう～>



<3年～店長になったら、どんなお店にしたいかな～>



< 6年～聖徳太子が目指した天皇中心の国づくりは、誰がどのように受け継いでいったのだろう

【自由進度学習】～>

